

課題

- 茨城県で最も広い面積を持つ常陸太田市では、商業施設等が市南部の市街地に集積。高齢化が進む山間部から市街地に移動する公共交通の維持が課題。
- 山間部では、バス停等までの近距離移動（ラストワンマイル）への対応が課題。
- 公共交通や運搬事業者の運転手の担い手不足の解消にも取り組む必要がある。



(写真：常陸太田市提供)

推進体制



課題解決に向けた取組

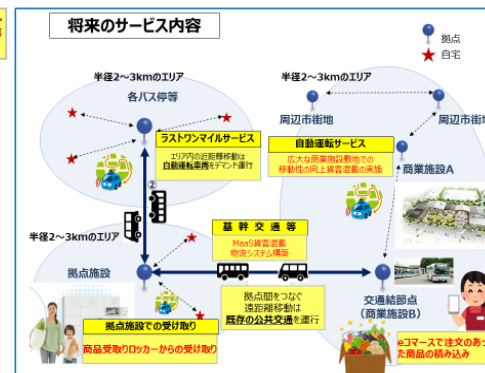
自動運転車両を活用して移動性向上を図るとともに、既存の公共交通との連携による物流システムを構築
⇒自宅から拠点施設までのシームレスな移動（人やモノ）を実現

- **自動運転車両**を活用した移動サービス
 - ・ 自動運転車両による商業施設内及び周辺への移動サービスや、ラストワンマイルサービスを実施。
- **MaaS×eコマースによる物流システム**の構築
 - ・ 自動運転車両と既存の公共交通（路線バス、乗合タクシー等）とを組み合わせた市内の物流システムを構築。
- **拠点施設での受け取り用ロッカー等設置**
 - ・ 地域の核となる施設（支所、病院など）に商品受け取りロッカーを設置し、市南部の商業施設と山間部とをシームレスにつなぎ、商品（生鮮食品、日用品、医薬品等）が購入できるサービスを提供。

スマートフォンからの自動運転車両等予約・交通費支払い、商業施設の商品の注文等を可能にする



MaaS×eコマース スマートフォン



(図：常陸太田市提供)

2022年度の
主な取組

- (自動運転) 市東部地区における自動運転車両の実証実験準備
- (自動運転) 市内における限られたエリア内での自動運転車両の実証実験の実施
- (MaaS×eコマースの活用) 自動運転車両と既存の公共交通による貨客混載事業計画検討
- (MaaS×eコマースの活用) MaaS×eコマースシステムのデータ基盤等の整備検討